

平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

1. 学校概要

学校名 北海道恵庭市立松恵小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒061-1403
北海道恵庭市中央 4 5 2 番地 2

E-mail matuesho@educet01.plala.or.jp

Website http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0110007

児童生徒数 男子 58 名 女子 49 名 合計 107 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 種まき・栽培活動・全校収穫祭

本校には300坪の学校農園があり、生活科や総合的学習の時間の中で野菜を栽培している。地域の農家の方に学校として様々な面で支援していただいている。

5月、全校児童が一斉に野菜の苗を植えたり種まきを行う。この頃に児童会が中心となって「全校種まき集会」を行う。

9月、全校収穫祭の開会式で、これまでお世話をしてきた野菜について「気をつけてきたこと」や「大変だったこと」、「成長してうれしかったこと」、「おいしかった食べ方」などを各学年が、工夫を凝らし発表する。併せて収穫祭で作る料理の紹介を行う。

2 ユネスコショップ

「ユネスコショップ」とは、自分たちで育てた野菜を「売って」そのお金を「募金」する活動である。募金活動を広げるため、地域の方や保護者に募金をしてもらったお礼に子どもたちのつくった野菜を持って行ってもらうことが本来の趣旨ではある。子どもたちは自分の育てた野菜が売れることに大喜びし、熱心にこの取り組んでいる。今年度は、子どもたちが育てた野菜等を販売して（募金してもらい）18,242円が集まった。全額を恵庭市ユネスコ協会に寄附。

3 ユネスコ憲章を調べる

総合的な学習の時間に5・6年生が「ユネスコとは何か」を調べ、ユネスコ憲章を取り上げた。また、今年度の全道ユネスコ大会で総合的な学習の時間に調べたことを発表し、併せてユネスコ憲章を暗唱した。

4 環境学習「川の学習」

8月末に恵庭市の漁川において、環境学習・川の観察・川の清掃等を体験活動を通して実施。

5 自然体験学習「林間学校」

今年度は冬期の実施。スノーシューを履き雪の中を動物の足跡探し、柔らかい雪の歩きにくさ体験、静けさの中を歩く経験等々、日常の中では体験できないであろうことを身をもって体験した。自然の豊かさに感謝した活動。

まとめとして

ユネスコショップは、食べきれない野菜たちが駄目になるのが「もったいない」ということからスタートした。ESDを意識し始めたことではなかったが、振り返るとこの活動はESDの趣旨に沿ったものになっている。今ではユネスコショップは本校の教育活動の柱になっており、地域や保護者の方々にも浸透している。今年度もユネスコショップの活動がテレビで紹介され、それを見て学校を訪れ、野菜を買って（募金して）くれる方が多くなる状況である。環境にも優しい活動として今後も継続して取り組んでいきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）

5月18日 「種まき集会」の様子



5月23日 「栽培活動 田植え」の様子



5月20日 「栽培活動」の様子



7月20日 「栽培活動」の様子



8月29日 「ユネスコショップ」の様子





9月3日 「収穫祭」の様子



9月24日 「いもほり」の様子



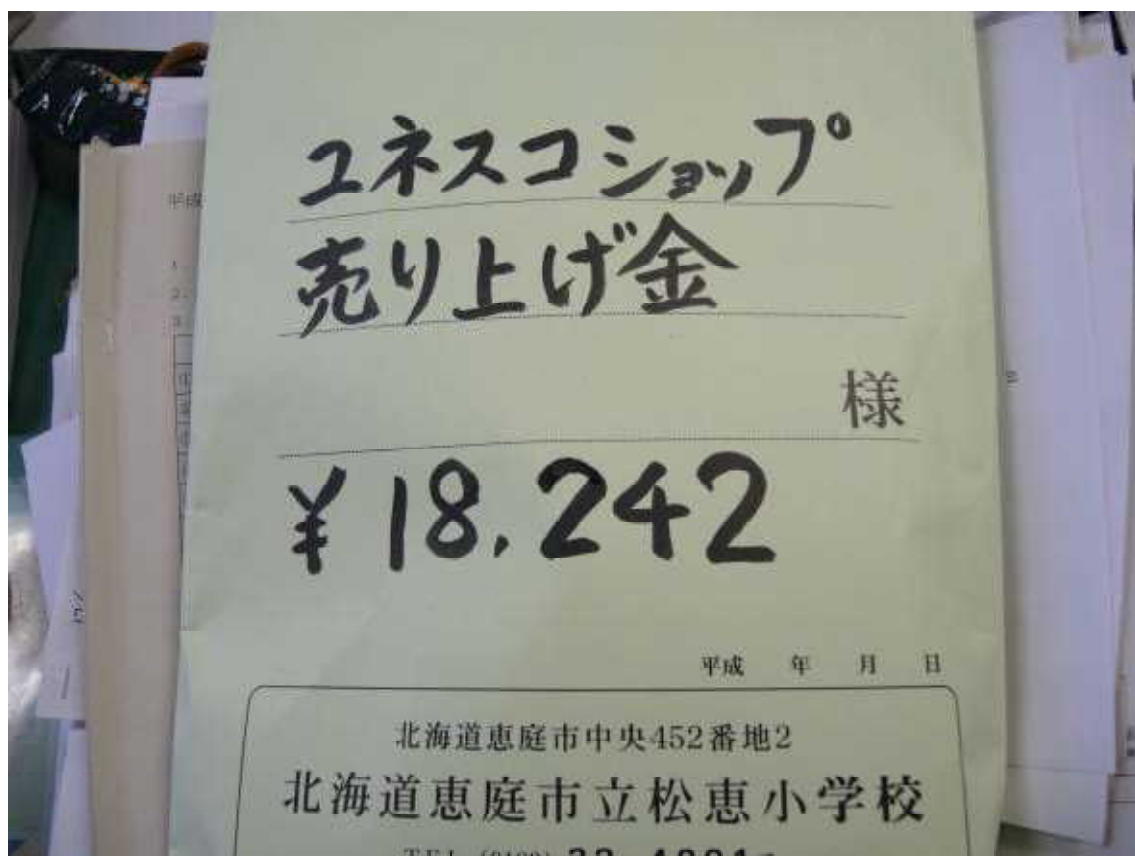
10月9日 「ユネスコ全道大会恵庭大会」発表の様子





12月22日「ユネスコショップ売り上げ金寄附」の場面





1月17日18日「冬期林間学校」の様子



